

OMC事務局 〒560-0085 豊中市上新田4-16-1-33 合原 一夫 TEL06-6833-9227  
 広報編集局 〒573-1171 枚方市三栗1-18-20 前田 茂夫 TEL072-850-5781  
<http://www.ne.jp/asahi/smaeda/12/>

平成20年12月(2008年)No.516

## 何と、20本の作品出品で新記録樹立 - 11月例会レポート -

### ■ 4対3の標準サイズの作品は1本もなし

11月例会は27名の出席があり、そのうち20名の方が作品を持参されました。20本の大台は今迄記憶にありません。しかも20本中ワイドが3本、残り17本がハイビジョンで、遂に4対3のSD作品は消滅してしまいました。

まさに今年の傾向を象徴するものとも言えます。もともと、現在、会長がまだ4対3のSD作品を編集中なのでSDも復活する筈です。

今月は大量出品ではありましたが、内容的にはどれもよくまとまっていて、このままOMC映像フェスティバルのプログラムにしてもいいんじゃないかと思わせる出来映えのものが多くありました。皆さんのご活躍のほど大変嬉しく思います。テーマもバラエティに富んでおり、観ているだけで色んな知識が増えてきて楽しいです。なお、年度賞対象は11月例会作品までなので、12月27日の幹事会で昨年の12月分から今月迄で選考です。

今月の司会は合原会長、書記、安居氏、機材担当、江村、増池の両氏、受付兼照明係は宮崎、渡辺の皆さんで会を進行しました。

■ 例会出席者：有村、井上、天草、江村、奥、河口、紙本、河合、黒田、合原、進藤、関、玉井、西井、西村、華岡、前田、増池、松本、宮崎、森口、安居、山本、吉岡、渡辺、宮井、対馬の27氏。(敬称略)

### 12月例会とその他のお知らせ

年末で何かとお忙しいでしょうが、12月例会は予定通り第4土曜日27日18時より開催します。今年最後の例会ですから、二次会も含めて楽しいひとときを過ごしましょう。

■ 予告：1月例会と新年会は、第3日曜日18日13時より例会と総会、17時より席を5階のレストランに移して新年会を開催します。

■ 新年会出欠ハガキは年内に投函して下さい。

◎ 幹事会：例会日の13時より第1会議室で開催、年度賞選考など議題

◎ 世話役会：例会日の15時より第1会議室で開催、役割分担など議題

◎ 平成21年度、年会費8,000円を会計に納めて下さい。

**上映作品** (今月の記録と講評は安居世話役です)

**1. 関西大学学園祭 (W)**

増池 茂さん 7分20秒

大学の学園祭って昔から変わらないものだと思っていました。食べ物の屋台とぞろぞろ歩く学生、ところどころでやっているショー。しかし増池さんが詳細に撮っておられるので見ているうちに学生の服装や行動パターンは、時代とともに変わっていくことに気づきました。若さあふれる学園祭の様子をアップと俯瞰でうまく表現されています。

**2. 山比古湧水 (W)**

森口吉正さん 9分40秒

森口さんといえば名水シリーズ。最近平成の名水100選が発表されたとか。平成の名水第1号が山比古湧水なのです。それは湖東三山金剛輪寺のそばを流れる宇曾川の上流にあります。川を遡って湧水までのあたりの景色がすばらしいです。名水を飲み、つい行ってみたいくなるようなビデオです。さらにこの名水を印象づけるのに山姥伝説を絡ませたところが巧妙です。あとになっても印象に残ります。昭和の名水から平成の名水へ、これからが楽しみです。

**3. 津軽のりんご (W)**

対馬 昭さん 2分30秒

2年前に撮った映像を編集されたそうです。パソコン編集は初めてということですが、うまいです。りんごの白い花と岩木山と真っ赤なりんごが印象的でした。そこに「りんご追分」の歌を入られたのはよかったですと思います。ただ歌の音量をもう少し絞られたほうがよかったですのではないかとはい司会者の意見。これからが期待される作者です。

**4. 水の構図 (HDV)**

有村 博さん 5分40秒

あの四川大地震の前に撮られた世界遺産九寨溝、この映像の中から水の織り成す情景だけをピックアップして構成されたものです。さらに他のクラブに出された同名の作品をコンパクトにされただけあって、BGMによくあったすばらしい作品に仕上がっていました。ただ一番印象的であった

渦のカットをスローにしてラストに持ってこられたのはよかったです、繰り返し3回は多すぎるのではないかと思います。えらそうなことをいって申し訳ありません。

**5. 能勢の里 (HDV)**

紙本 勝さん 9分40秒

大阪府の北の端、豊能郡、能勢といえば「棚田と、かやぶき屋根」の風景しか普通は想像できません。しかしここはキリスタン大名高山右近の生誕地だったのです。作品を見て再認識しました。里山にある右近の遺跡や野仏だけではなかなか作品にするのは難しいものです。紙本さんはキリスタンの悲劇と無数にある野仏をうまくまとめて無常観を表現されています。「人の目にもあまり触れたことのない野仏に会える能勢の里でした。」このラストナレが利っていました。

**6. 長等山園城寺三井寺 (HDV)**

吉岡貞夫さん 8分35秒

「天智、天武、持統の三天皇の産湯を使った井戸がある寺」という由来で三井寺といわれるようになったとか。「弁慶の引きずり鐘」も面白いです。いろいろな伝説のある古いお寺ですが有名なだけに興味があります。重要文化財に指定されたところが多数あるのもさすがだと思いました。しかもここは西国14番札所の観音堂もあります。これだけそろって観光宣伝も必要なさそうです。それらを良くわかるようにうまく編集されていました。

**7. 大山隠岐公園 (HDV)**

天草 稔さん 3分48秒

11月に隠岐の島に行かれて早速作品にされたものです。日本海に面した国賀海岸、奇岩を波が洗う情景を丹念に撮られました。天気がよかったですので明るい感じがします。がけの上で寄り添う二頭の馬はほんとうに楽しそうです。冬の日本海ともなれば表情が一変するのでしょうか。映画「貝になりたい」のロケ地とのこと、内容が思い出されて現実とのギャップに驚きました。

**8. 晩秋の大泉緑地公園散策 (HDV)**

奥 宏さん 6分56秒

お住まいの近くにある公園を撮影されました。散策という題名はよく使いますがや

はり散策の結果、第三者にその意図を伝えたいと思います。晩秋の公園を歩いて公園の景色だけではなく「人々の様子をみて私はこう感じた。」と。ナレーションで語られるとカットを見ながら共感が得られるのではないのでしょうか。それによって手持ちカメラの弊害もかなり軽減されるように思うのですが・・・筆者も三脚を使わない方ですのでごまかし方をいろいろ考えています。

#### 9. 長浜曳山祭から「祈り」(HDV)

河合源七郎さん 12分08秒

華やかな長浜曳山祭りの裏側でこんなことが行われていると取材されました。

4つの曳山のうち一番籤を引き当てないと子供たちの三番叟は披露できないのです。籤男を中心に裸の若衆が一番籤を当たりますようにと八幡様や豊国神社、はては氏神様まで祈りをささげに練り歩きます。一番籤欲しさの祈りが競争原理によって盛り上がり「祈り」の祭りが花開くこととなります。籤男を中心にうまくまとめられていました。籤男は残念ながら3番手を引いてしまいました。しかし本番の曳山祭りはこれからです。

#### 10. ミュアウッド国定公園 (HDV)

井上勝彦さん 8分14秒

サンフランシスコから車で30分のところにセコイアの森林があります。奥さんのナレでヨセミテが国立公園として保存された経緯を聞きながらレッドウッドのすばらしい情景に目を見張りました。突如画面に Software Stabilized のスーパー、え！ソフトでスタビライズできるの、どういうこと？と思いつつ見終えると解説がありました。手持ち歩行で撮ったカットとそれをソフトで処理したカットを比べた画面がありその威力に驚きました。そのソフトはフリーウェアでプラグイン出来るとのことですが、「動きベクトル解析パラメータ設定」などの文字をみるとそれだけで筆者はビビってしまいました。でも少しは挑戦したい気持ちもあります。

#### 11. トキのふるさと (HDV)

進藤信男さん 18分28秒

すごい大作です。よく撮られたなあと感じました。野生のトキも人と共に住んで

いたのですね。人が都会に逃げ出しトキの生存だけを願ってもその難しさは進藤さんのビデオを見てよくわかりました。コウノトリの時もそうでしたが人と自然環境と野生の鳥という視点から構成されているのがすばらしいと思います。今回の「トキのふるさと」のほうが洗練されてきたと思います。

欲をいえば、枝葉をそぎ落とし、テーマに抑揚をつければ、TVF に出品されても入賞されると思いますよ。期待しています。

#### 12. 銀河 (HDV)

前田茂夫さん 9分56秒

今年の3月14日で夜行寝台特急「銀河」が無くなりました。昨年11月から12月にかけてその勇姿をお撮りになった記録集です。大阪発22時22分、ですから夜遅く何回も撮りに行かれたのですね。大変だと思いますが、あの余部に通われたことを思うと前田さんにとってはたいしたことではないのかも知れません。新大阪駅で乗客が乗り込むところはいいですね。意外と若い女性が多いのにはびっくりしました。二度と撮れないシーンばかりですからこれから価値が上がると思います。

#### 13. ゆめはんな (HDV)

安居利次さん 7分17秒

大阪市営地下鉄中央線と近鉄東大阪線が相互乗り入れして、南港のコスモスクエアから学研奈良登美が丘まで路線が通じました。この路線の愛称が「ゆめはんな」です。学研奈良登美が丘は見た目には新興住宅地でにぎわっているようですが生駒トンネルを走る電車はがらがらです。これで営業が成り立つのか気がかりになりました。その反面大阪市営の中央線は去年から黒字になったとか、なにか皮肉な感じをうけました。

#### 14. 余部夏祭 (HDV)

江村一郎さん 7分10秒

背景に余部鉄橋が写っていなかったらどこにでもある夏祭りの風景と変わらないようです。しかし何箇所かのカットに何気なく写っている鉄橋がやはりビデオを引き締めています。鉄橋の映像を生かすために夏祭りがあるのですね。少なくとも作者にとっては、夏祭りということで里帰りしているのでしょうか、赤ちゃんを抱いた若い女

性が大勢いるのに驚きました。圧巻は鉄橋を渡る列車の映像と共に神社のお札を名前を呼びながら渡している神主さんのカットです。よくこうゆうカットが撮れましたね、これでタイトルの「余部夏祭」が生きてきました。すごい！

#### 15. おはら風の盆 (HDV)

西井 学さん 12分45秒

以前の作品もよかったと思いましたが今回はそれより数段よくなったと思います。これだけのカットを集めるのにどれくらいの日数をかけられたのか、おそらく想像以上なのでしょう。歌とカットの動作がピタットあっているのも驚きです。「お代と彦左」の悲恋は作品に厚み加えているようです。あえて難を言えば後半少しちぢめて10分以内にまとめるほうがよいという意見がありました。それから現場音が全くないのも少し違和感を覚えます。それにしてもすばらしい作品です。

#### 16. 里山の秋 (HDV)

玉井 勺さん 4分45秒

玉井さんのハイビジョン第1作、ふさわしい題材です。和菓子で有名な「すないの郷」の風景をじっくり見せていただきました。6万3000坪の丘陵地の農園には梅や柚子が植えられており和菓子の材料になるとか。作者独特のタッチで里山の秋を描かれました。そのあたりを歩くと、きっと「売り」の懐石料理を味わったり、少し休憩してお茶と和菓子を食いたい衝動にかられるのでしょうか。これからは玉井さんのハイビジョンに期待します。

#### 17. トロッコの走る森林 (HDV)

渡辺雄史さん 5分50秒

御嶽山のふもとにある赤沢森林鉄道を取材されました。昔、川に流していた木材が、ダム建設のためだめになり、この森林鉄道が建設されたといえます。やがてトラック輸送が主流になり鉄道は一時休止していました。それが観光用に復活したのです。川面を走るトロッコ列車は風情がありますね。山深いので4月から11月3日までとか、しかも回数が少ないのでいいポジションで狙うのは、なかなか大変だったと思います。なにかほっとする作品でした。

#### 18. ほにや&十人十彩 (HDV)

宮井 健さん 7分07秒

りんくう地区で行われた「泉州よさこい・ゑえじゃないか祭り」を撮られたものです。本場の高知県から「ほにや」と「十人十彩」という有名なグループが招かれその踊りを中心に撮影されました。タイトルの意味はそこからきているようです。この祭り、今年で5回目とか、「よさこい」といえばもりあがるのですね。自由に演出して踊れるのが人気の秘密でしょうか。

#### 19. バサラ祭り (HDV)

黒田敏彦さん 9分50秒

すごい熱気に圧倒されました。バサラ祭とは鎌倉、室町時代に流行した風潮だそうです。はめをはずしてみんなで踊る、そのパワーとエネルギーで時代をかえる、このコンセプトを古都奈良が受け継ぎ祭りは10回目を迎えたといえます。その熱気を映像でどう表現するか、短いアップ画面と音楽に合わせたきめ細かい編集方法で見ている人に熱気が伝わってきます。30数組のグループが参加しているとか。「バサラ邪馬台国」「テンヤワンヤ」。グループの法被に記された文字が印象にのこりました。

#### 20. ブハラ (HDV)

山本正夢さん 7分10秒

チェコのプラハではありません。ウズベキスタンの都市、ブハラです。旧市街は世界遺産だそうです。ソ連崩壊後自由に訪れることができるとはいえ山本さんでなければいけないところです。オワシスがあり昔から栄えた都市、建物は古色蒼然としています。そこに生活している人は現代人の容貌とスタイルを感じるのは流行の風潮がいかに早く伝わっていくかを如実にあらわしているようです。いつもながらラストの夕日の逆光をバックに黒々とした陰影の建物は印象に残りました。

#### 訂正とお詫び

前田茂夫

先月の上総修一郎さんの作品「盆踊・風俗絵巻」のコメントで、「肝心の江州音頭が最後に少しだけ披露されただけで、双方の音頭の違いが筆者には判らなかつたのが残念でした。」と書きましたが、作者のご指摘で見直したところ前半部にも江州音頭がありました。作者には大変ご迷惑をおかけしたことをお詫びいたします。